



## 三浦太鼓店花押

花押とは、古文書などの名前の下に書いた署名のこと。その昔、花押は権力の象徴であり、将軍や大名などの支配階級が用いるのが一般的だった。また職人の棟梁が自分の作品に花押を用いることもあった。太鼓職人は胴の中に、刀鍛冶は刀の鞘に花押を。職人たちは、自分の技を誇って花押を用いているのである。



# 和太鼓はいきている

～伝統を守り、伝統を創る～

vol. 1 2012年12月

# 2012年12月15(土) 16(日)に東京展示会を行います！ 今回は目玉商品が白白押しです！

今年も東京青山のRinで展示会を行います！たくさんの商品の展示を考えておりますが  
その中でも注目したい商品を少しご紹介したいと思います(^-^)



## 舞鼓



ちまたで噂の女性の為の太鼓。華やかに舞う、  
そんな女性らしい太鼓を作りたいという想いで作られた、  
その名も“舞鼓(まいこ)”。  
胴には和紙で施された美しい花模様！  
ぜひ、この美しい太鼓を実際にご覧下さいませ(^-^)

試行錯誤を幾度となく繰り返して、ついに新しい締バチが完成！  
その名も“雅(みやび)バチ”。握りの太さ・先端の形状・全体の  
バランス、全てにおいてこだわり抜いた一品！  
一度試せば、“音”で違いがわかります！

## 雅バチ



胴体はけやきのくり抜き。桶太鼓でも  
長胴太鼓でもない新しい太鼓！  
セットで使うとその音色は抜群！  
ぜひ一度その音を聞いてみて下さい。  
ちなみにこの子はまだ名無し君です。  
この太鼓の名前を募集してます(^-^)

こんな大太鼓あったらいいな！をカタチに。届けたいのはどこよりも深い  
大太鼓の響き... 三浦太鼓店の看板商品“三六-SABUROKU-”です！  
たくさんの“やりたい事”をカタチにしたいという一途な思いで  
価格や、セット内容、台のカタチにまでとことんこだわり今なお  
進化し続けております。  
この太鼓は、私自身が演奏活動をさせていただく中でこんな大太鼓  
あったらいいな！という思いからうまれたこだわり満点の大太鼓です！

## 三六-SABUROKU-



## オリジナルチロルチョコをプレゼント

ご来場くださったお客様に  
三浦太鼓店オリジナルの  
チロルチョコをプレゼント!!  
数に限りがございますので  
お早めどうぞ(^-^)

### <会場アクセス>

東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線

「表参道駅」B2 出口または B4 出口より徒歩 2 分

Rin 3F イベント会場

〒107-0061 東京都港区北青山 3-6-26

時間：AM11:00～PM17:00 頃予定

# 太鼓づくり vol.1

## 皮づくり I



太鼓づくりで一番大切な作業のひとつに“皮づくり”があります。私たちが言う“皮づくり”とは、太鼓用に加工(脱毛)された皮をそれぞれの目的・用途に合わせた太鼓に仕上げを指します。

まず、皮はロール状に巻かれた“乾皮”という状態で保存・保管しています。

### ・乾皮とは？

太鼓用に脱毛された原皮を、天日で乾燥させた皮のことを言います。その名の通り皮は乾燥していて、まるでプラスチックのようにカチカチの状態です。

この乾皮は背骨を中心に腹から開かれており、写真で分かるように広げると約畳二畳ほどの大きさになります。

次に、保管状態の乾皮のままではカチカチで加工することが不可能なので、この乾皮を数日間水に浸し柔らかい状態にします。そこからいよいよ太鼓の皮を裁断していきます。

しかし、牛は生き物。皮質・厚さ・傷や汚れ、一つとして同じ皮はありません。製作する太鼓に最適な皮を、目で見て・手で触れて・肌で感じ、裁断していきます。まだ生皮の状態ですが、経験からどの辺りで・どの厚さで・どのような皮質で裁断すれば目指す音に仕上がるか私達には完成した太鼓をばちで叩いているかのように分かります。

この皮を判別・裁断する工程で、完成した時の和太鼓の‘音‘がほぼ決まっており、この工程で製作する太鼓に最適な皮を選別できなければ、納得のいく音に仕上がりません。

まだ太鼓になる役目を待っている皮はその後、通称「うなぎの寝床」で保管されます。



活きた和太鼓の

音

を届ける

魂

このコーナーでは、私たちの日々の仕事を紹介していきます。皆様に私たちの仕事を通して、和太鼓の事をより深く知ってもらいたいという思いで記事を作っていきたいと思っております!(^^)!

# 2012年も1年間、ありがとうございました！

今年一年お世話になり、ありがとうございました。おかげさまで、大きなケガも病気もなく無事1年を終えることができました。これもひとえに、皆様方のおかげと思っております。一段と冷え込む季節となりましたが、皆様お体に気をつけて、良い年未年始をお過ごしください。また来年もどうぞよろしく お願いいたします！



この度、三浦太鼓店ではこのような新聞の製作をはじめました。皆さまと私たちとの距離が少しでも近くなってもらえるような、楽しい新聞を作っていこうと思っております。まだまだ始めたばかりで、右も左もわからない状態です。内容も至らない点が多くあると思いますが、あたたかい目で見守っていただけたら幸いです(^-^)  
次号からも、皆さまに楽しい新聞を読んでもらえるよう頑張っていきます！  
どうぞ、よろしくお願ひ致します(>\_<)

## <購読無料>

この新聞は不定期で発行しております。  
購読ご希望の方は HP の三浦太鼓店新聞請求フォームからご請求ください。

URL <http://www.taikoya.net/sinbun.html>

発行責任者：朝倉慶介 三浦史帆

〒444-0072 岡崎市六供町杉本 32-2

慶応元年創業

株式会社

三浦太鼓店

TEL(0564)21-2271

FAX(0564)21-2272

E-mail [info@taikoya.net](mailto:info@taikoya.net)

URL <http://www.taikoya.net/>

## HP、SNS紹介

・三浦太鼓店 HP

・六代目フログ  
「和太鼓と生きる」

・三浦太鼓店  
facebook ページ

